

神戸女学院岡田山キャンパスの高等植物相（Ⅲ）.

各論第3部—種子植物門，被子植物亜門，双子葉植物綱，合弁花亜綱—

野	寄	玲	児
熊	取		薫
北	川	智	美
西	原	光	恵

Summary

Flora of Higher Plants Native to the Okadayama Campus, Kobe College, Western Japan (Ⅲ).
Floral Description, Part 3—Subclass Sympetalae, Class Dicotyledoneae, Subdivision Angiospermae—

NOZAKI Reiji
KUMATORIYA Kaoru
KITAGAWA Tomomi
NISHIHARA Mitsue

The third issue of the flora of Okadayama Campus describes 164 plant species in 27 families belong to a subclass Sympetalae, class Dicotyledoneae, subdivision Angiospermae.

本報告は岡田山産高等植物目録の第3報で、被子植物亜門、双子葉植物綱、合弁花亜綱に所属する27科164種（2雑種を含む）、1亜種、2変種、2品種について解説する。本報に収録した植物の種名や学名は、第1報および第2報（野寄ほか 2006a, b）と同様に、Iwatsuki *et al.* eds. (1993, 1995), 佐竹ほか編 (1981, 1989), 神奈川県植物誌調査会編 (2001), 清水編 (2003) を参考にした。また、兵庫県内における分布の概要については、福岡ほか編 (2005, 2006) によったが、キク科についてはまだ出版されていない。既存目録は前報と同じく、目録1（神戸女学院高等学部理科学研究部編 1967）、目録2（岡田山の自然編集委員会編 1974）、目録2の再版（岡田山の自然編集委員会編 1976）および目録3（神戸女学院環境保全委員会編 1982）である。レッドリスト区分とその評価も、第1報および第2報と同様に、日本版（J：環境庁自然保護局野生生物課編 2000）および近畿版（KI：レッドデータブック近畿研究会編 2001）、兵庫県版（HY：兵庫県県民生活部環境局自然環境保全課編 2003）の各レッドデータブックによった。

ANGIOSPERMAE 被子植物亜門
DICOTYLEDONEAE 双子葉植物綱

SYMPETALAE 合弁花亜綱

85. Clethraceae リョウブ科

1. *Clethra barbinervis* Siebold et Zucc. リョウブ

在来 目録1・2 I†・II†・III KC (B) 19197, 19872.

温帯に生育する夏緑広葉小高木。各地の二次林に普通の種であるが、岡田山では谷門の森の一角に、胸高直径5～15cm、樹高約10mの数個体が生育するのみである。

86. Ericaceae ツツジ科

Rhododendroideae ツツジ亜科

2. *Rhododendron macrosepalum* Maxim. モチツツジ

在来 目録1・2 I・II・III・IV 19079, TK4, TK19.

中部地方以西の本州と四国に生育する半常緑性の広葉低木で、瀬戸内海周辺の暖温帯二次林に多い。岡田山では東山と西山を中心に、森林にごく普通。

3. *Rhododendron obtusum* (Lindl.) Planch. var. *kaempferi* (Planch.) Wilson ヤマツツジ

在来 目録1・2 I・II KC (D) 20084, KK25.

温帯に生育する半常緑性の広葉低木。明るい二次林に多く、岡田山では森林の遷移の進行に伴って、次第に減少しつつある。

4. *Rhododendron reticulatum* D. Don ex G. Don コバノミツバツツジ

在来 目録1・2 I・II・III・IV 19009, 19341, 19645.

中部地方以西の低山に生育する夏緑広葉低木。明るい二次林に多く、岡田山では各所の森林にごく普通で、とくに西山と東山の森林では低木層で優占する。4月頃、展葉に先だって淡紅紫色の美しい花を多数咲かせる。岡田山の春を彩る代表的な樹木である。

- H1. *Rhododendron* × *enomotoi* T. Yamaz. (*R. indicum* × *R. macrosepalum*) ウレンツツジ(雑種)
 在来 I KC (B) 19347, 19701.
 サツキ *R. indicum* (L.) Sweet とモチツツジとの雑種と推定される半常緑性の広葉低木で、岡田山では西山の尾根に1株のみみられる。花はやや大型の濃紅紫色。
- H2. *Rhododendron* × *tectum* Koidz. (*R. macrosepalum* × *R. obtusum* var. *kaempferi*) ミヤコツツジ(雑種)
 在来・絶滅 I[†]・II[†] KC (E)
 モチツツジとヤマツツジとの雑種と推定される半常緑性の広葉低木で、岡田山ではかつては西山と東山にわずかにみられたが、現在はみられず絶滅したものと思われる。標本は採れていない。

Arbutoideae ウラシマツツジ亜科

5. *Lyonia ovalifolia* (Wall.) Drude var. *elliptica* (Siebold et Zucc.) Hand. -Mazz. ネジキ
 在来 目録1・2 I・II・III・IV 19123, 19752.
 温帯の山地に生育する夏緑広葉小高木。岡田山では各所の森林に普通で、西山、東山では亜高木層で優占する。

Vaccinioideae スノキ亜科

6. *Vaccinium bracteatum* Thunb. シヤシヤンボ
 在来 目録1・2 I・II・III・IV 19188, 19844.
 暖温帯に生育する常緑広葉小高木。岡田山では各所の森林に普通で、とくに南山に大きな個体が多い。
7. *Vaccinium oldhamii* Miq. ナツハゼ
 在来 目録1・2 I・II・III・IV KC (D) 19158, 19845.
 下部温帯に生育する夏緑広葉低木で、明るい二次林に多い。岡田山では、西山、東山を中心に各所の森林にみられるが、遷移の進行に伴って、近年急激に個体数が減少している。
8. *Vaccinium smallii* A. Gray var. *glabrum* Koidz. スノキ
 在来 目録1・2 I・II・III・IV KC (C) 19168, 19193, 19718.
 下部温帯に生育する夏緑広葉低木で、明るい二次林に多い。岡田山でも各所の森林にみられるが、個体数は少ない。なお、目録1・2にウスノキ *V. hirtum* Thunb. およびアクシバ *V. japonicum* Miq. の記録があるが、何れも本種の誤認と思われる。

87. Myrsinaceae ヤブコウジ科

Myrsinoideae ヤブコウジ亜科

9. *Ardisia crenata* Sims マンリョウ
 在来 目録1・2 I・II・III・IV 19897, 19977, TK20, 20135.
 暖温帯に生育する常緑広葉小低木。岡田山では各所の林内に普通。
- F1. forma *leucocarpa* (Nakai) Yamanaka シロミノマンリョウ
 在来 I・IV KC (C)
 果実が白く熟す品種。岡田山では南山および西側斜面の林内に少数個体が生育している。
10. *Ardisia crispa* (Thunb.) DC. カラタチバナ
 在来 IV KC (A)
 暖温帯に生育する常緑広葉小低木。岡田山では西側斜面の林内に1個体のみ生育している。標本は採れていない。

11. *Ardisia japonica* (Thunb.) Blume ヤブコウジ
在来 目録1・2 I・II・III・IV 19176, 20152.
下部温帯に生育する常緑広葉小低木。岡田山では各所の林内に普通。

88. Primulaceae サクラソウ科

12. *Lysimachia clethroides* Duby オカトラノオ
在来 目録1・2 I・II[†] KC (B) 19873.
明るい草原に生育する多年草。音楽学部1号館北側の草地に群生しているが、構内では他にはみられない。近辺では甲山周辺の草地にわずかにみられる。

13. *Lysimachia japonica* Thunb. コナスビ
在来 目録1・2 I・II・III・IV 19124, 19258, KK64.
林縁や路傍に生育する小型の多年草。岡田山では各所の庭園や林縁などにごく普通。

89. Ebenaceae カキノキ科

14. *Diospyros kaki* Thunb. カキノキ
在来・逸出 I・II・III・IV 19120, 20111.
下部温帯に生育する夏緑広葉高木。栽培種が逸出したものという説もある。岡田山では各所の森林にやや普通。

90. Styracaceae エゴノキ科

15. *Styrax japonicus* Siebold et Zucc. エゴノキ
在来・逸出 I・II・IV KC (C) 19177, 20029.
下部温帯に生育する夏緑広葉高木。各地の二次林に普通の種であるが、岡田山には少なく、林内や林縁に稀にみられる幼樹の大部分は、庭木や街路樹からの散布種子による逸出と考えられる。ただし、南山の二次林内には1個体であるが自生と思われる中径木がみられる。

91. Symplocaceae ハイノキ科

16. *Symplocos coreana* (H. Lévl.) Ohwi タンナサワフタギ
在来 I[†]・IV KC (A) 19011S, 20217.
関東地方以西の温帯の山地に生育する夏緑広葉小高木。岡田山では社交館西側の斜面林に、胸高直径6.5cm、樹高約4mの1個体のみが生育している。もう1個体が西山に生育していたが、市道今津西線の工事で消滅した。
17. *Symplocos prunifolia* Siebold et Zucc. クロバイ
在来 目録2 I・II・III KC (B) 19208S, 19356, 20092.
暖温帯に生育する常緑広葉高木。岡田山ではIV地区を除く各所の森林に稀にみられるが、個体数は少なく、高さ数mを超えるものは数個体しかない。最大の個体は谷門の森に生育する胸高直径25.5cmの個体である。近辺では門戸厄神（東光寺）の樹林に比較的多い。
18. *Symplocos kuroki* Nagam. クロキ
在来 目録1 I・III KC (A) 20215S.
暖温帯に生育する常緑広葉小高木。岡田山では、西山の尾根と谷門の森に幼樹がみられるが、成木はない。六甲山の植物誌（小林ほか 1998）には記録がないが、近辺では西宮市甲山の森林に多産することから、野鳥によって種子が運ばれてきたものと推定される。なお、クロキの分布には諸説あるが、Nagamasu (1993) には鳥取・広島県以西とあるので、甲山の個体群は特異な隔離分布といえる。兵庫県内の産地はごく少ない。

92. Oleaceae モクセイ科

Oleoideae モクセイ亜科

19. *Osmanthus heterophyllus* (G. Don) P. S. Green ヒイラギ
在来 目録2 I・II・III・IV 19772S, TK21, 20169.
暖温帯に生育する常緑広葉小高木。岡田山では各所の森林にやや普通。
20. *Ligustrum japonicum* Thunb. ネズミモチ
在来 目録1・2 I・II・III・IV 19407, TK5, TK16.
暖温帯に生育する常緑広葉小高木。岡田山では各所の森林にごく普通で、低木層でしばしば優占する。
21. *Ligustrum lucidum* Aiton トウネズミモチ
帰化 I・III・IV 19443, 19866.
中国原産の常緑広葉小高木。鑑賞用や緑化用に植栽され、都市近郊の二次林や河川などに逸出している。岡田山では各所の林縁や林内にやや稀。
22. *Ligustrum vulgare* L. セイヨウイボタ
帰化 II・III 19392, 19755.
ヨーロッパ原産の夏緑広葉低木。生け垣などに植栽され、都市近郊の二次林にしばしば逸出している。岡田山では各所の林縁や林内に稀に逸出している。

93. Gentianaceae リンドウ科

23. *Swertia japonica* (Schult.) Makino センブリ
在来・絶滅 目録2 I† KC (E)
林縁や草地に生育する1年草。目録2に記録があるが、現在はみられない。
24. *Gentiana scabra* Bunge var. *buergeri* (Miq.) Maxim. ex Franch. et Sav. リンドウ
在来 目録1・2 I・II† KC (A) 19329, 19954.
明るい草原に生育する多年草。岡田山では既に絶滅状態にあるが、隣接地の宅地跡に自生個体と思われるものが1個体のみ生育している。近辺では、西宮市上ヶ原山田町の棚田にみられる。

94. Apocynaceae キョウチクトウ科

Plumerioideae チョウジソウ亜科

25. *Vinca major* L. ツルニチニチソウ
帰化 I・II・III・IV 19689, KK38.
地中海地方原産の常緑性つる草本。観賞用に栽培されたものが各地で逸出している。岡田山でも各所の林縁にごく普通。

Apocynoideae キョウチクトウ亜科

26. *Trachelospermum asiaticum* (Siebold et Zucc.) Nakai テイカカズラ
在来 目録1・2 I・II・IV 19389, 19780.
暖温帯に生育する常緑性つる木本。岡田山では各所の林縁にやや稀にみられる。

95. Asclepiadaceae ガガイモ科

27. *Metaplexis japonica* (Thunb.) Makino ガガイモ
在来 目録1・2 I・II・III・IV KC (D) KK166.
原野や林縁に生育する夏緑性のつる草本。岡田山では各所の林縁にやや稀にみられるが、西側斜面の林縁には比較的多い。

96. Solanaceae ナス科

28. *Lycium chinense* Mill. クコ
在来 I・II KC (C) 19939, KK186.
河川の周辺や林縁に生育する夏緑性の半低木。構外では四十谷川沿いの路傍などにやや普通にみられるが、岡田山では正門と西門付近の林縁に稀。
29. *Solanum lyratum* Thunb. ヒヨドリジョウゴ
在来 目録1・2 I・II・III・IV 19299, KK167, KK176.
林縁に生育する夏緑性のつる草本。岡田山では各所の林縁に普通。なお、目録2にヤマホロシ *S. japonense* Nakai の記録 (I・II・IV地区) があるが、本種の誤認と思われる。
30. *Solanum nigrum* L. イヌホオズキ
在来 I・II・III・IV 19019, 19169, 19910.
畑地や路傍、空き地などに生育する多年草。岡田山では各所の路傍や林縁にやや稀に生育する。史前帰化植物と考えられている。
31. *Solanum ptycanthum* Dunal ex DC. アメリカイヌホオズキ
帰化 I 20077, 20162.
路傍や空き地に生育する北アメリカ原産の1年草。西側崖地下の空き地に少数個体がみられる。
32. *Solanum pseudo-capsicum* L. タマサンゴ
帰化 I・IV 20053, 20117.
南アメリカ原産の常緑小低木で、観賞用に栽培されたものがしばしば逸出している。岡田山では正門付近や社交館付近の路傍に稀。

97. Convolvulaceae ヒルガオ科

Convolvuloideae ヒルガオ亜科

33. *Dichondra repens* Forst. var. *carolinensis* (Michx.) Choisy カロライナアオイゴケ
帰化 II・III・IV 19608S, 19950 (SHO), KK100.
路傍に生育する北アメリカ南部原産の多年草。岡田山では、路傍にやや稀で、阪神・淡路大震災後に各所でみられるようになった。19950は小林ほか (1998) では、母種のアオイゴケとして引用されている。
34. *Calystegia hederacea* Wall. コヒルガオ
在来 II・III・IV 19272, 19373.
原野や路傍に生育するつる性の多年草。岡田山では路傍や空き地にやや稀。目録1・2にヒルガオ *C. sepium* (L.) R. Br. var. *japonica* (Choisy) Makino の記録 (I・IV地区) があるが、目録2の写真から判断すると本種の誤認と思われる。
35. *Ipomoea lacunosa* L. マメアサガオ
帰化 III 19924, KK198.
路傍や空き地に生育する北アメリカ原産のつる性の1年草。谷門広場の空き地にみられる。

98. Rubiaceae アカネ科

Cinchonoideae キナノキ亜科

36. *Gardenia jasminoides* Ellis クチナシ
在来 目録1・2 I・II・III・IV 19213, 19951 (SHO).
中部地方以西の暖温帯の森林に生育する常緑広葉低木。岡田山では各所の林内にやや普通。花の香

がよいので、庭園や庭によく植栽される。

Rubioideae アカネ亜科

37. *Hedyotis diffusa* Willd. フタバムグラ

在来・絶滅 目録2 I† KC (E) 19616.

溜池の周辺などの貧栄養な湿地に生育する小型の1年草。正門付近の草地に少数個体が生育していたが、その後絶滅した。

38. *Damnacanthus indicus* Gaertn. fil. アリドオシ

在来 目録2 II・III・IV KC (B) 19220.

暖温帯の森林に生育する常緑広葉小低木。岡田山ではよく発達した森林に小集団がみられる。近辺では門戸厄神（東光寺）の樹林にも生育する。兵庫県内の産地は比較的少ない。

39. *Paederia foetida* L. ヘクソカズラ

在来 目録1・2 I・II・III・IV 19236, 19859, KK129.

草地や林縁、二次林、路傍など、いたる所に生育する夏緑性のつる草本。岡田山でも各所の路傍や草地、林縁などにごく普通。

40. *Diodia teres* Walter オオフタバムグラ

帰化 I 19570, KK133.

砂礫質の路傍や空き地に生育する北アメリカ原産の1年草。西側崖地下の空き地に生育する。

41. *Rubia argyi* (H. Lévl. et Vaniot) H. Hara ex Lauener アカネ

在来 目録2 II・III・IV KC (C) 19388S, 19623, 19940.

原野や林縁に生育するつる性の多年草。岡田山では各所の林縁にやや稀。

42. *Galium glaciens* (A. Gray) Makino ヒメヨツバムグラ

在来 目録1・2 I・II・III・IV 19080, KK52.

明るい草地や路傍に生育する小型の多年草。岡田山では各所の路傍に普通。

43. *Galium trachyspermum* A. Gray ヨツバムグラ

在来 目録1・2 I・II・IV† KC (A) 20116, 20142.

田畑の周辺や明るい草地に生育する小型の多年草。音楽館付近の路傍に少数個体が稀にみられる。

44. *Galium spurium* L. var. *echinospermon* (Wallr.) Hayek ヤエムグラ

在来 I・II・III・IV 19081, 19703, KK39.

河川や田畑の周辺、林縁などに生育する1年草。岡田山では各所の林縁や空き地にやや普通。

45. *Galium verum* L. subsp. *asiaticum* (Nakai) T. Yamaz. forma *lacteum* (Maxim.) Nakai カワラマツバ

在来 目録1・2 II KC (A) 20124

田畑の周辺や明るい草原などに生育する多年草。正門に通ずる車道沿いの草地に少数個体が生育している。

99. Boraginaceae ムラサキ科

Boraginoideae ムラサキ亜科

46. *Bothriospermum tenellum* (Hornem.) Fisch. et C. A. Mey. ハナイバナ

在来 目録3 I・II・III・IV 19109, 19672.

畑地や明るい草地に生育する1年草。岡田山では各所の路傍や庭園にやや稀。

47. *Trigonotis peduncularis* (Trevis.) Benth. ex Hemsl. キュウリグサ (タビラコ)
在来 目録1・2 I・II・III・IV 19082, 19339, KK3.
畑地や路傍に生育する1年草。岡田山では各所の庭園や路傍にごく普通。古い時代に大陸から渡来した史前帰化植物と考えられている。

48. *Symphytum officinale* L. ヒレハリソウ (コンフリー)
帰化 III 19736.
路傍に生育するヨーロッパ原産の多年草。温室付近の土手にみられる。日本に帰化して広まっているのは本種とオオハリソウ *S. asperum* Lepech との雑種 *S. × uplandicum* Nyman であるという説もあるが (神奈川県植物誌調査会編 2001; 清水編 2003), ヒレハリソウとの間に複雑な中間形があるので (Stace 1991), 本報告ではヒレハリソウとしておく。

100. Verbenaceae クマツツラ科

Viticoideae ハマゴウ亜科

49. *Clerodendrum trichotomum* Thunb. クサギ
在来 目録1・2 I・II・III・IV 19232, 19451, 19902.
暖温帯の林縁に生育する夏緑広葉小高木。岡田山では各所の林縁に普通。
50. *Callicarpa japonica* Thunb. ムラサキシキブ
在来・絶滅 III[†] KC (E)
下部温帯の森林に生育する夏緑広葉低木。各地の二次林に普通の種であるが、岡田山の森林には本種を含めてムラサキシキブ属の低木がみられない。谷門の森の林内に幼樹が1個体のみ生育していたが、その後消滅した。標本は採れていない。
51. *Callicarpa dichotoma* (Lour.) K. Koch コムラサキ
逸出 I・IV 19566.
湿地の周辺に生育する夏緑広葉低木で、果実が美しいので庭などによく植えられる。岡田山では、植栽木の散布種子に由来すると思われる逸出個体が、やや稀にみられる。

Verbenoideae クマツツラ亜科

52. *Verbena bonariensis* L. ヤナギハナガサ
帰化 I・III・IV 20112.
路傍や空き地に生育する南アメリカ原産の多年草。岡田山では、各所の路傍や空き地に稀に発生する。

101. Lamiaceae (Labiatae) シソ科

Ajugoideae キランソウ亜科

53. *Ajuga decumbens* Thunb. キランソウ
在来 目録1・2 I・II・III・IV KC (C) 19148, 19658.
路傍や明るい草地に生育する小型の多年草。岡田山では各所の庭園や路傍にやや稀。

Lamioideae オドリコソウ亜科

54. *Mentha spicata* L. オランダハッカ (スペアミント)
帰化 III・IV 19414, 19888.
路傍に生育するヨーロッパ原産の多年草。岡田山では、観賞用に栽培されたものが路傍や空き地に稀に逸出している。
55. *Clinopodium gracile* (Benth.) Kuntze トウバナ
在来 目録2 I・II・III・IV 19083, 19680, KK51.

草地や路傍，林縁などに生育する小型の多年草．岡田山では各所の林縁や草地に普通．目録1・2にヤマトウバナ *C. multicaule* (Maxim.) Kuntze の記録があるが，本種の誤認と思われる．

56. *Perilla frutescens* (L.) Britton var. *crispa* (Thunb.) Deane シソ
逸出 II・III 19610, KK205.
食用として古来から栽培される1年草．岡田山では路傍に稀に逸出個体がみられる．
57. *Mosla scabra* (Thunb.) C. Y. Wu et H. W. Li イヌコウジュ
在来 I・II・III・IV 19301, 19609, KK199.
畑地や路傍に生育する1年草．岡田山では各所の路傍や草地，植え込みなどに普通．
58. *Lamium purpureum* L. ヒメオドリコソウ
帰化 I・II・III・IV 19629, 19637.
路傍に生育するヨーロッパ原産の1年草．現在の岡田山では各所の路傍に普通であるが，既存目録には記録がない．
59. *Lamium amplexicaule* L. ホトケノザ
在来 目録2 I・II・III・IV 19348, 19681.
畑地や路傍に生育する1年草．岡田山では各所の路傍や空き地に普通．古い時代に大陸から渡来した史前帰化植物と考えられている．
60. *Prunella vulgaris* L. subsp. *asiatica* (Nakai) H. Hara ウツボグサ
在来・絶滅 目録1・2 I† KC (E)
田畑の周辺や明るい草地に生育する多年草．目録1・2に記録があるが，今はみられず，標本も残されていない．近辺では西宮市武庫川の記録がある(福岡ほか編 2005)．
61. *Salvia japonica* Thunb. アキノタムラソウ
在来 目録1・2 III†・IV KC (A) 19502, 19899, 19909.
草地や林縁に生育する多年草．岡田山では，四十谷川沿いの林縁に少数個体が生育している．目録1・2にナツノタムラソウ *S. lutescens* (Koidz.) Koidz. forma *lobato-crenata* (Makino) Murata の記録があるが，本種の誤認と思われる．

Scutellarioideae タツナミソウ亜科

62. *Scutellaria indica* L. タツナミソウ
在来・絶滅 目録1・2 III† KC (E)
田畑の周囲や明るい草地に生育する多年草．目録1・2に記録があるが，今はみられず，標本も残されていない．近辺では，西宮市上ヶ原山田町の棚田にみられる．

102. Callitrichaceae アワゴケ科

63. *Callitriche japonica* Engelm. ex Hegelm. アワゴケ
在来 IV KC (C) 20203.
湿った路傍に生育する小型の1年草．岡田山では，社交館付近の路地にわずかにみられるほか，構外の門戸岡田町3丁目の側溝などに生育している．

103. Loganiaceae フジウツギ科

64. *Buddleia davidii* Franch. フサフジウツギ
帰化 I・II・IV 19326, 19904.
中国原産の夏緑広葉低木．岡田山では林縁や切り土法面などに稀にみられる．

104. Scrophulariaceae ゴマノハグサ科

Pseudosolanoideae モウズイカ亜科

65. *Verbascum thapsus* L. ビロードモウズイカ

帰化 I 20216.

路傍や空き地に生育するヨーロッパ原産の大型の1年草。岡田山では、西側崖地下の空き地に稀にみられるほか、構外の岡田山2丁目、聖和大学構内などにしばしば発生する。

Scrophularioideae ゴマノハグサ亜科

66. *Paulownia tomentosa* (Thunb.) Steud. キリ

逸出 I・IV 20041.

中国中部または九州の原産と推定される夏緑広葉高木で、林を採るために広く植栽され、各地で逸出している。岡田山では、市道今津西線の法面や西側斜面の林縁に少数個体がみられる。

67. *Mazus miquelii* Makino サギゴケ (ムラサキサギゴケ)

在来 目録1・2 I・II・IV KC (D) 19349, KK9.

水田や湿地に生育する多年草。岡田山では音楽館周辺の湿った草地や側溝沿いに小集団がみられる。古い時代に、東南アジア方面から渡来した史前帰化植物と考えられている (竹松・一前 1987)。

68. *Mazus pumilus* (Burm. fil.) van Steenis トキワハゼ

在来 I・II・III・IV 19031, 19149, 19682, KK22.

湿った路傍に生育する小型の1年草。岡田山では各所の路傍にやや普通。

69. *Lindernia procumbens* (Krock.) Borbás アゼナ

在来 目録1・2 I・II・IV KC (D) 19279, 20129

水田や湿地に生育する小型の1年草で、代表的な水田雑草のひとつ。本学院の飛び地であった放棄水田 (岡田山3丁目) に群生していたが、土地の売却・埋め立てにより消滅した。近辺の水田や水路には今も普通にみられ、構内の湿った路傍や四十谷川の側壁などにも時折発生する。史前帰化植物と考えられている。

70. *Lindernia dubia* (L.) Pennell subsp. *major* (Pursh) Pennell アメリカアゼナ

帰化 I 19239, 19867, 19914, 20143.

水田や湿地に生育する北アメリカ原産の小型の1年草。本学院の飛び地であった放棄水田 (岡田山3丁目) に群生していた。

71. *Lindernia crustacea* (L.) F. Muell. ウリクサ

在来 I・III・IV KC (C) 19278, 19567, 20187 (SHO), 20163.

路傍に生育する小型の1年草。岡田山では湿った路傍や草地にやや稀。

72. *Linaria canadensis* (L.) Dum. Cours. マツバウンラン

帰化 I・II・III・IV 19702, 19796, 20012, 20038.

路傍や空き地に生育する北アメリカ原産の1年草。西宮市内では阪神・淡路大震災後に急に目立つようになった。岡田山では各所の庭園や草地にやや稀に発生し、近年増えつつある。

73. *Cymbalaria muralis* Gaertn., B. Mey. et Scherb. ツタバウンラン

帰化 III・IV 19690.

石垣に生育するヨーロッパ原産の多年草。岡田山では四十谷川沿いの石垣などに時折みられる程度であるが、津門川など、近辺の河川では護岸の石垣などに群生している。

Rhinanthoideae シオガマギク亜科

74. *Veronica peregrina* L. ムシクサ
在来 I・II・III・IV 19032, 19113, 19992, 20005, KK10.
水田や路傍に生育する1年草。本学院の飛び地であった放棄水田（岡田山3丁目）に群生していたほか、阪神・淡路大震災の後、各所の路傍で見られるようになった。北アメリカ原産という説もある（竹松・一前 1987）。
75. *Veronica arvensis* L. タチイヌノフグリ
帰化 目録1・2 I・II・III・IV 19378, 19695, KK23.
畑地や路傍に生育するヨーロッパ原産の小型の1年草。岡田山では各所の庭園や路傍にごく普通。
76. *Veronica persica* Poir. オオイヌノフグリ
帰化 目録1・2 I・II・III・IV 19098, 19340, KK15.
路傍に生育する西アジア原産の1年草。岡田山では各所の庭園や路傍にやや普通であるが、以前に比べると個体数が減少している。
77. *Veronica polita* Fries subsp. *lilacina* (T. Yamaz.) T. Yamaz. イヌノフグリ
在来 目録1・2 II・III・IV J (Vu), KI (Nt), HY (C), KC (B) 19357, 19632, 19671 (SHO).
路傍に生育する小型の1年草。岡田山では建物の周囲や敷石の隙間などにやや稀にみられる。近辺では、西宮北口付近の津門川の護岸に多産する。
78. *Veronica hederifolia* L. フラサバソウ
帰化 II・III・IV 20189.
路傍や空き地に生育するヨーロッパ原産の小型の1年草。近年、院長公舎付近の空き地に発生し、その後各所に拡がりつつある。
79. *Veronica undulata* Wall. カワヂシャ
在来・絶滅 I† J (Nt), KI (Nt), HY (C), KC (E) 19051, 19762, 20006, KK76.
水田や水路に生育する1年草で、代表的な水田雑草のひとつ。本学院の飛び地であった放棄水田（岡田山3丁目）に群生していたが、土地の売却・埋め立てにより消滅した。近辺の水田には今もやや稀にみられる。なお、第1報（野埼ほか 2006a）の表7では、環境庁のレッドリスト（環境庁自然保護局野生生物課編 2000）における本種の評価を「対象外（-）」としていたが、「準絶滅危惧」に訂正する。
80. *Veronica anagallis-aquatica* L. オオカワヂシャ
帰化 I・II 20101.
河川や水辺に生育するヨーロッパ原産の1年草。音楽1号館付近の水路沿いに時折発生する。
81. *Melampyrum roseum* Maxim. var. *japonicum* Franch. et Sav. ママコナ
在来 目録1・2 I KC (B) 19290, 19530.
アカマツ林内や二次林の林縁に生育する1年草。西山の雑木林に小集団がみられる。

105. Plantaginaceae オオバコ科

82. *Plantago lanceolata* L. ヘラオオバコ
帰化 目録1・2 I・II・III・IV 19412, KK88.
路傍や草地に生育するヨーロッパ原産の多年草。岡田山では各所の路傍や植え込みにやや普通。

83. *Plantago virginica* L. ツボミオオバコ

帰化 目録1・2 I・II・III・IV 19026, KK71.

路傍や草地に生育する北アメリカ原産の1年草。岡田山では各所の庭園や路傍、グラウンドなどにごく普通。

84. *Plantago asiatica* L. オオバコ

在来 目録1・2 I・II・III・IV 19377, KK107.

路傍に生育する多年草。岡田山では各所の路傍や空き地に普通。

106. Acanthaceae キツネノマゴ科

Acanthoideae キツネノマゴ亜科

85. *Justicia procumbens* L. キツネノマゴ

在来 目録1・2 I・II・III・IV 19288, 19289, 19569, KK128.

畑地や路傍に生育する1年草。岡田山では、各所の路傍や草地、空き地などに普通。

107. Lentibulariaceae タヌキモ科

86. *Utricularia uliginosa* Vahl ムラサキミミカキグサ

在来・絶滅 目録1・2 I[†] J (Vu), KI (Nt), HY (C), KC (E)

貧栄養湿地に生育する小型の多年草。かつての岡田山の西山の斜面には、小規模な湧水湿地が点在し、各種の湿地生植物が生育していた(岡田山の自然編集委員会編 1974)。本種はそうした湧水湿地に生育する食虫植物の一種で、目録1・2に記録があるが、写真も残されておらず標本も採られていない。西宮市の甲山湿原には現在も多数の個体がみられる。

87. *Utricularia bifida* L. ミミカキグサ

在来・絶滅 目録1・2 I[†] KC (E)

貧栄養湿地に生育する小型の多年草。前種と同様に、西山の湧水湿地に生育していた。目録1・2に記録があるが、写真も残されておらず標本も採られていない。西宮市の甲山湿原には現在も多数の個体がみられる。

108. Campanulaceae キキョウ科

Campanuloideae ホタルブクロ亜科

88. *Adenophora triphylla* (Thunb. ex Murray) A. DC. var. *japonica* (Regel) H. Hara ツリガネニンジン

在来 目録1・2 I・II・IV KC (A) 19930.

明るい草原に生育する多年草。院長公舎および東山林縁、西側斜面の林縁部にごく少数個体が生育する。西宮市内では、甲山周辺の棚田には現在も普通にみられる。

89. *Campanula punctata* Lam. ホタルブクロ

在来・絶滅 目録1・2 II[†] KC (E)

林縁や草原に生育する多年草。目録1・2に記録があるが、現在の岡田山にはみられない。タルカッ
ト館周辺の個体群(III地区)は、花の色も多様であり、記録のある地区とも一致しないので、植栽に由来するものと思われる。

90. *Triodanis perfoliata* (L.) Nieuwl. キキョウソウ

帰化 II・III・IV 19150, 20059.

路傍や空き地に生育する北アメリカ原産の1年草。シェイクスピアガーデンに植えられたものが、各所の路傍に逸出している。

91. *Triodanis biflora* (Ruiz et Pav.) Greene ヒナキキョウソウ
 帰化 III・IV 19063, 19067, 20057, KK90.
 路傍や空き地に生育する北アメリカ原産の小型の1年草。岡田山では、中庭やグラウンドの芝生にやや稀に発生する。
92. *Platycodon grandiflorum* (Jacq.) A. DC. キキョウ
 在来・絶滅 目録1・2 I† J (Vu), KI (C), KC (E)
 明るい草原に生育する多年草。目録1・2に記録があるが、写真も残されておらず、標本も採られていない。西山 (I 地区) にかつてあったススキ草原に生育していたようである。秋の七草の一種で、昔は人里周辺の草地に普通にみられた植物であるが、全国的に減少している (環境庁自然保護局野生生物課編 2000)。近辺では甲山湿原の周辺にわずかにみられる。
93. *Wahlenbergia marginata* (Thunb. ex Murray) A. DC. ヒナギキョウ
 在来 目録1・2 I・II・III・IV 19099, KK53, KK89.
 草地や路傍に生育する小型の多年草。岡田山では各所の庭園や路傍にやや普通。

109. Caprifoliaceae スイカズラ科

Viburnoideae ガマズミ亜科

94. *Viburnum odoratissimum* Ker-Gawl. var. *awabuki* (K. Koch) Zabel サンゴジュ
 在来 (逸出?) 目録1 I・II† KC (D) 19439S, 20136S.
 暖温帯に生育する常緑広葉小高木で、庭木として各地に植栽される。岡田山では南山やデフォレスト館西側の森林に少数個体が生育するが、これらが本来の自生か植栽木からの逸出かは不明である。西門道路沿いの急斜面の個体は植栽されたものである。なお、同属の夏緑広葉低木であるコバノガマズミ *V. erosum* Thunb. ex Murray var. *punctatum* Franch. et Sav., ミヤマガマズミ *V. wrightii* Miq. などは、各地の二次林に普通の種であり、甲山の森林にも多産するが、岡田山の森林には全くみられない。

Caprifolioidae スイカズラ亜科

95. *Abelia serrata* Siebold et Zucc. コツクバネウツギ
 在来 目録1・2 I・II・III・IV KC (C) 19084, 20030.
 下部温帯の森林に生育する夏緑広葉低木。明るい雑木林に生育し、岡田山では西山、東山を中心にやや稀に生育する。遷移の進行に伴い、個体数が急激に減少している。
96. *Abelia spathulata* Siebold et Zucc. ツクバネウツギ
 在来 目録1・2 I・II・III・IV 19035, 19085.
 温帯の森林に生育する夏緑広葉低木。明るい雑木林に生育し、岡田山では西山、東山、西側斜面を中心にやや普通。遷移の進行に伴い個体数が減少している。
97. *Lonicera japonica* Thunb. ex Murray スイカズラ
 在来 目録1・2 I・II・III・IV 19086, 20031.
 温帯に生育する半常緑性のつる木本。岡田山では各所の林縁に普通。

110. Valerianaceae オミナエシ科

98. *Patrinia scabiosaefolia* Fisch. ex Trevir. オミナエシ
 在来・絶滅 目録1・2 I† KC (E)
 明るい草原に生育する多年草。目録1・2に記録があり写真 (目録2) も残されているが、標本は採られていない。西山 (I 地区) にかつてあったススキ草原に生育していたようである。秋の七草の一種で、昔は人里周辺の草地に普通にみられた植物であるが、近年各地で減少している。近辺では甲山湿原の周辺にわずかにみられる。

111. Asteraceae (Compositae) キク科

Lactucoideae タンポポ亜科

99. *Hypochoeris radicata* L. ブタナ
帰化 I・II・III・IV 19170, KK81.
路傍や草地に生育するヨーロッパ原産の多年草。岡田山では各所の庭園や路傍にやや稀。
100. *Picris hieracioides* L. subsp. *japonica* (Thunb.) Krylov コウゾリナ
在来・絶滅 目録1・2 I†・III† KC (E)
田畑の周辺や草原に生育する1年草。目録1・2に記録があるが現在はみられない。
101. *Lapsana humilis* (Thunb.) Makino ヤブタバコ
在来 目録1・2 I・II・III・IV 19033, 19696.
原野や林縁に生育する1年草。岡田山では各所の林縁にやや普通。
102. *Lactuca indica* L. アキノノゲシ
在来 目録1・2 I・II・III・IV 19308, KK181.
田畑の周辺や草原に生育する大型の1年草。岡田山では各所の林縁や空き地にやや稀。古い時代に、東南アジア方面から渡来した史前帰化植物と考えられている(竹松・一前 1987)。
F2. forma *indivisa* (Makino) Honda ホソバアキノノゲシ
在来 I・II 19572, 19919.
葉が羽状に深裂せず披針形になる品種。市道今津西線の法面などに稀にみられる。
103. *Lactuca scariola* L. トゲチシャ
帰化 I・III・IV 19449, 19470.
路傍に生育するヨーロッパ原産の大型の1年草。岡田山では、阪神・淡路大震災後に路傍でしばしばみられるようになったが、最近は少ない。
104. *Taraxacum japonicum* Koidz. カンサイタンポポ
在来 目録1・2 I・II・III・IV KK24, KK82.
中部地方以西の田畑の周辺や路傍に生育する多年草。岡田山では、庭園や路傍、グラウンドなどにごく普通。とくに、大学中庭のタンポポは、ほとんどが本種である。
105. *Taraxacum albidum* Dahlst. シロバナタンポポ
在来 目録1・2 II・III・IV KC (D) 19982, KK11.
路傍や草地に生育する多年草。岡田山では、庭園や路傍にやや稀。
106. *Taraxacum officinale* Weber セイヨウタンポポ
帰化 目録1・2 I・II・III・IV 19421, KK12.
路傍や草地に生育するヨーロッパ原産の多年草。岡田山では各所の庭園や路傍にごく普通。藤棚周辺やグラウンドの南側、寮の周辺など、阪神・淡路大震災の復旧工事の際に土地の掘削を行ったところでは、在来のカンサイタンポポを圧倒して優占している。
107. *Taraxacum laevigatum* (Willd.) DC. アカミタンポポ
帰化 I・II・III・IV 19667, KK56.
路傍や草地に生育するヨーロッパ原産の多年草。岡田山では各所の庭園や路傍にやや稀。

108. *Ixeris stolonifera* A. Gray イワニガナ (ジシバリ)
 在来 I・II・III・IV 19665, KK31.
 田畑の周辺や湿った路傍に生育する多年草。岡田山では側溝の周辺などにやや普通。
109. *Ixeris debilis* (Thunb. ex Murray) A. Gray オオジシバリ
 在来 目録1・2 I・II⁺・III KC (D) 19994.
 田畑の周辺や路傍などに生育する多年草。岡田山では正門周辺および松風庵付近の林縁にやや稀に生育するのみであるが、北隣の聖和大学構内には多い。古い時代に渡来した史前帰化植物と考えられている。
110. *Ixeris dentata* (Thunb. ex Murray) Nakai subsp. *dentata* ニガナ
 在来 目録1・2 I・II・III・IV 19087, 10735, KK55.
 路傍や草地、林縁などに生育する多年草。岡田山では、各所の庭園に普通。
 S1. subsp. *nipponica* (Nakai) Kitam. var. *albiflora* (Makino) Nakai ハナニガナ
 在来 II KC (B) 20007.
 小花の数が10個前後と多い亜種で、音楽学部1号館東側の小湿地に少数個体がみられる。
111. *Paraixeris denticulata* (Houtt.) Nakai ヤクシソウ
 在来・絶滅 目録1・2 I⁺・II⁺ KC (E) 19620, 19948, 19955.
 路傍や林縁に生育する1年草。オルチン記念館南側の西山林縁に少数個体がみられたが、最近は見られず絶滅したものと思われる。
112. *Youngia japonica* (L.) DC. オニタビラコ
 在来 目録2 I・II・III・IV 19257, KK85.
 路傍や林縁に生育する1年草。岡田山では半陰の庭園や路傍、林縁にごく普通。
113. *Sonchus asper* (L.) Hill オニノゲシ
 帰化 目録2 II・III・IV 19324, 19674.
 路傍に生育するヨーロッパ原産の大型の1年草。岡田山では、各所の路傍にやや稀にみられる。
114. *Sonchus oleraceus* L. ノゲシ
 在来 目録1・2 I・II・III・IV 19248, 19790.
 路傍に生育する大型の1年草。岡田山では、各所の庭園や路傍にやや普通。古い時代に渡来した史前帰化植物と考えられている。

Asteroideae キク亜科

115. *Ambrosia artemisiifolia* L. ブタクサ
 帰化 目録2 I・II・III・IV 19469, KK152.
 空き地や路傍、畑地などに生育する北アメリカ原産の大型の1年草。岡田山では、各所の路傍にやや稀。
116. *Xanthium occidentale* Bertol. オオオナモミ
 帰化 II・III・IV 19582, 19587.
 路傍に生育する北アメリカ原産の大型の1年草。岡田山では路傍や空き地に稀に発生する。
117. *Bidens frondosa* L. アメリカセンダングサ
 帰化 目録1・2 I・II・III・IV 19504, 19593.
 河川や水田、路傍に生育する北アメリカ原産の1年草。岡田山では各所の路傍や空き地にやや普通。

118. *Bidens pilosa* L. コセンダングサ
 帰化 I・II・III・IV 19017, KK201.
 路傍や空き地に生育する熱帯アメリカ原産の1年草または多年草。岡田山では各所の路傍や空き地にやや普通。
119. *Bidens biternata* (Lour.) Merr. et Sherff ex Sherff センダングサ
 在来 目録2 (再版) I・II・III・IV 19053, 19300, 19503, KK173.
 路傍や空き地に生育する1年草。岡田山では各所の路傍や空き地にやや普通。古い時代に渡来した史前帰化植物と考えられている。
120. *Coreopsis lanceolata* L. オオキンケイギク
 帰化 I 19406, 20063.
 路傍に生育する北アメリカ原産の多年草。西側崖地下の空き地にしばらく発生していたが、最近は見られない。観賞用に植えられたものから種子が散布されたものと思われる。
121. *Eclipta alba* (L.) Hassk. アメリカタカサブロウ
 帰化 I・II・IV 19282, 19465, KK155, KK158.
 水田や路傍に生育する熱帯アメリカ原産の1年草。岡田山では路傍や空き地にやや稀に発生する。
122. *Helianthus tuberosus* L. キクイモ
 帰化 II 20074.
 路傍や空き地に生育する北アメリカ原産の大型の多年草。正門付近の路傍に少数個体がみられる。
123. *Petasites japonicus* (Siebold et Zucc.) Maxim. フキ
 在来 目録1・2 I・II・III KC (C) 19638, 19988.
 路傍や林縁に生育する多年草。岡田山では谷門広場と西門道路付近の林縁に小集団がみられる。
124. *Crassocephalum crepidioides* (Benth.) S. Moore ベニバナボロギク
 帰化 目録2 I・II・III・IV 19227, KK137, KK178.
 原野や路傍、伐採跡地などに生育するアフリカ原産の1年草。岡田山では各所の路傍や空き地に稀に発生する。
125. *Farfugium japonicum* (L.) Kitam. ツワブキ
 逸出 目録1 I・III 20218.
 海岸付近の森林や林縁に生育する常緑多年草。観賞用として庭園などに植栽され、岡田山ではしばしば林縁に逸出している。
126. *Senecio vulgaris* L. ノボロギク
 帰化 I・II・III・IV 19203, 19684
 畑地や路傍に生育するヨーロッパ原産の1年草。岡田山では各所の路傍にやや普通。
127. *Erechtites hieracifolia* (L.) Raf. ex DC. ダンドボロギク
 帰化 目録2 I・II・III・IV 19304, KK179, 20201.
 路傍や伐採跡地などに生育する北アメリカ原産の1年草。岡田山では各所の路傍に稀に発生する。
128. *Conyza sumatrensis* (Retz.) E. H. Walker オオアレチノギク
 帰化 I・II・III・IV 19018, 19579, 19911.
 路傍や空き地などに生育する南アメリカ原産の大型の1年草。岡田山では各所の路傍に普通。

129. *Conyza bonariensis* (L.) Cronq. アレチノギク
 帰化 目録1・2 I・II・III・IV 19140, 19753.
 路傍や空き地などに生育する南アメリカ原産の1年草。岡田山では各所の路傍にやや普通。
130. *Solidago altissima* L. セイタカアワダチソウ
 帰化 目録2 (再版) I・II・III・IV 19321, KK210.
 水田や河川, 路傍, 空き地など, いたる所に生育する北アメリカ原産の大型の多年草。岡田山では各所の路傍や空き地に普通。
131. *Solidago virgaurea* L. subsp. *asiatica* Kitam. ex H. Hara アキノキリンソウ
 在来 目録1・2 I・II KC (C) 19619, KK207, KK209.
 明るい二次林や林縁, 草地などに生育する多年草。岡田山では, 西山・東山の林縁にやや稀に生育するが, 次第に個体数が減少している。
132. *Aster rugulosus* Maxim. サワシロギク
 在来 II KI (C), KC (A) 19049, 19941.
 貧栄養湿地に生育する多年草。音楽学部1号館東側の小湿地に少数個体が生育するが, 絶滅寸前である。西宮市内では, 甲山湿原に多産する。
133. *Aster scaber* Thunb. シラヤマギク
 在来・絶滅 目録1・2 I† KC (E)
 明るい二次林や林縁, 草原などに生育する多年草。各地の里山に普通の種であるが, 岡田山では, 西山の林内に生育していた個体群が, 市道今津西線の工事により消滅し, 絶滅した。
134. *Aster yomena* (Kitam.) Honda ヨメナ
 在来 目録1・2 II・III・IV KC (D) 19571, 19624, KK200.
 田畑の周辺や路傍に生育する多年草。岡田山では各所の路傍にやや稀。
135. *Aster incisus* Fisch. オオユウガギク
 在来 II・IV KC (D) 19225.
 路傍や林縁に生育する多年草。岡田神社の周辺や西側斜面の林縁に小集団がみられる。
136. *Aster ovatus* (Franch. et Sav.) Mot. Ito et Soejima ノコンギク
 在来 目録1・2 I・II・III・IV 19320, 19617, 19625.
 田畑の周辺や草原に生育する多年草。岡田山では各所の路傍や林縁にやや普通。
137. *Aster subulatus* Michx. var. *sandwicensis* (A. Gray) A. G. Jones ホウキギク
 帰化 目録1・2 I・IV 19942.
 河川や湿地に生育する北アメリカ原産の1年草。岡田山では路傍に稀に発生するが, 次のヒロハホウキギクと較べて少ない。
 V1. var. *ligulatus* Shinnars ヒロハホウキギク
 帰化 I・II・III・IV 19306, 19510.
 河川や湿地に生育する北アメリカ原産の1年草。岡田山では路傍や空き地にやや普通。
138. *Erigeron philadelphicus* L. ハルジオン
 帰化 I・II・III・IV 19088, KK40, KK54.
 田畑の周辺や路傍に生育する北アメリカ原産の1年草。岡田山では各所の庭園や空き地に普通であるが, 半陰地に生育地が偏る傾向がある。

139. *Erigeron canadensis* L. ヒメムカシヨモギ
 帰化 目録1・2 I・II・III・IV 19293, 19580, KK149.
 畑地や路傍, 空き地など, いたる所に生育する北アメリカ原産の大型の1年草。岡田山では路傍や空き地に普通。
140. *Stenactis annuus* (L.) Cass. ヒメジョオン
 帰化 目録1・2 I・II・III・IV 19390, KK72.
 畑地や路傍, 空き地など, いたる所に生育する北アメリカ原産の1年草。岡田山では路傍や空き地にごく普通。
141. *Stenactis strigosus* (Muhl. ex Willd.) DC. ヘラバヒメジョオン
 帰化 I・II・IV KK65.
 畑地や草地に生育する北アメリカ原産の1年草。岡田山では音楽学部1号館北側の草地に多い。
142. *Stenactis pseudoannuus* (Makino) Ohba ヤナギバヒメジョオン
 帰化 III
 草地に生育する北アメリカ原産の1年草。北東園地に数年間発生していたが, 現在はみられない。
143. *Centipeda minima* (L.) A. Br. et Asch. トキンソウ
 在来 II KC (D) 15026.
 畑地や路傍に生育する小型の1年草。道ばたなどに普通の種であるが, 岡田山では, 道路のコンクリートの隙間などにごく稀。古い時代に, 東南アジア方面から渡来した史前帰化植物と考えられている(竹松・一前 1987)。
144. *Artemisia capillaris* Thunb. カワラヨモギ
 在来 I 19243.
 河原や空き地などに生育する多年草。岡田山では, 市道今津西線の周辺に少数個体がみられる。
145. *Artemisia indica* Willd. var. *orientalis* (Pamp.) H. Hara ニシヨモギ
 在来 I・III・IV 20188
 路傍や空き地に生育する多年草。次のヨモギとは頭花の直径が約3mmと大きいことから区別される。岡田山では, 路傍等にやや稀にみられ, ヨモギよりも帰化植物的な性質がある。
 V2. var. *maximowiczii* (Nakai) H. Hara ヨモギ
 在来 目録1・2 I・II・III・IV 19309, 19581.
 田畑の周辺や路傍, 草地など, いたる所に生育する多年草。岡田山では庭園や路傍, 空き地にごく普通。
146. *Dendranthema japonicum* (Makino) Kitam. リュウノウギク
 在来・絶滅 目録1・2 I[†]・II[†] KC (E)
 明るい草原に生育する多年草。目録1・2に記録があり写真(目録2)も残されているが, 標本は採られていない。西山(I地区)にかつてあったススキ草原に生育していたようである。近辺では, 西宮市上ヶ原山田町の棚田にみられる。
147. *Cotula australis* (Sieber ex Spreng.) Hook. fil. マメカミツレ
 帰化 目録3 I・II・III・IV 19591, 19646, 19649.
 路傍に生育するオーストラリア原産の小型の1年草。岡田山では各所の路傍やグラウンドなどにやや普通。

148. *Leucanthemum vulgare* Lam. フランスギク (マーガレット)
 帰化 II・III・IV 19720, 19764, 20017, 20060.
 路傍に生育するヨーロッパ原産の多年草。岡田山では庭園や路傍に稀に逸出している。
149. *Carpesium cernuum* L. コヤブタバコ
 在来 I・II・III・IV KC (D) 19276, 19912.
 林縁に生育する多年草。岡田山では各所の林縁にやや稀。目録1・2にヤブタバコ *C. abrotanoides* L. の記録 (III地区) があるが、本種の誤認と思われる。
150. *Gnaphalium luteo-album* L. セイタカハハコグサ
 帰化 II・III・IV 19639, 19656.
 路傍や水田に生育するヨーロッパ原産の1年草。岡田山では各所の路傍にやや稀。
151. *Gnaphalium affine* D. Don ハハコグサ
 在来 目録1・2 I・II・III・IV 19627, 19789.
 田畑や路傍に生育する1年草。岡田山では各所の路傍にやや稀。古い時代に渡来した史前帰化植物と考えられている。
152. *Gnaphalium japonicum* Thunb. チチコグサ
 在来 I・II・III・IV 19089, KK29.
 田畑の周辺や草地に生育する多年草。岡田山では各所の庭園や路傍、グラウンドなどにごく普通。シバと外形がよく似ており、シバ草地の刈り込みによく適応した種である。
153. *Gnaphalium pensylvanicum* Willd. チチコグサモドキ
 帰化 目録2 (再版) I・II・III・IV 19069, KK30.
 畑地や路傍に生育する北アメリカ原産の1年草。岡田山では各所の庭園にやや普通。代表的な帰化植物の1つであるが、近年は個体数が減少し、生育地も半陰地に偏る傾向がある。
154. *Gnaphalium calviceps* Fern. タチチチコグサ
 帰化 I・IV 19846, 20061.
 路傍に生育する北アメリカ原産の1年草。岡田山ではグラウンドにやや稀。
155. *Gnaphalium purpureum* L. ウスベニチチコグサ
 帰化 I・II・III・IV 19417, 19773.
 路傍や草地に生育する北アメリカ原産の1年草。岡田山では音楽学部1号館や西門道路周辺の草地にやや稀。
156. *Gnaphalium spicatum* Lam. ウラジロチチコグサ
 帰化 I・II・III・IV 19070, 19416, 19683.
 路傍や空き地に生育する南アメリカ原産の多年草。岡田山では、阪神・淡路大震災を契機に路傍に目立つようになり、現在では庭園や路傍、グラウンドなどにごく普通。耐陰性が高く、また、ロゼットが草刈り機でも除去されないため、庭園部を中心に在来の野草を駆逐しながら蔓延している。
157. *Eupatorium lindleyanum* DC. サワヒヨドリ
 在来・絶滅 目録2 I† KC (E)
 湿地に生育する多年草。目録2に記録と写真があるが、標本は採られていない。南山 (I地区) にかつて存在したオオミズゴケの優占する貧栄養湿地に生育していたようである。西宮市南部では甲山湿原に多産する。

158. *Eupatorium makinoi* Kawahara et Yahara var. *oppositifolium* (Koidz.) Kawahara et Yahara ヒヨドリバナ
在来 目録1・2 II・IV KC (C) 19475, 19505.

草原や林縁に生育する大型の多年草。四十谷川沿いと岡田山6丁目付近の林縁に少数個体が生育する。なお、目録1・2にフジバカマ *E. japonicum* Thunb. ex Murray (I地区)の記録があり、現在も万葉池付近の林縁に小集団がみられるが、河川の氾濫原に生育する種(服部ほか 2000)であることから、以前に植栽されたものと考えられる。

159. *Atractylodes ovata* (Thunb.) DC. オケラ

在来・絶滅 目録1・2 I[†]・II[†] KI (C), KC (E)

明るい草原や二次林に生育する多年草。目録1・2に記録があり写真(目録2)も残されているが、標本は採られていない。岡田山では、西山の林内に生育していた個体群が、市道今津西線の工事により消滅し、絶滅した。近辺では、西宮市甲山周辺にわずかにみられる。

160. *Cirsium japonicum* Fisch. ex DC. ノアザミ

在来・絶滅 目録1・2 I[†]・II[†] KC (E)

田畑の周辺や草原に生育する多年草。目録1・2に記録があるが、標本は採られていない。稀にII地区の路傍で見られるが、シェイクスピアガーデンの植栽個体が逸出したもので、在来の個体群は絶滅した。甲山周辺の棚田には現在も普通にみられる。なお、目録2にヨシノアザミ *C. nipponicum* (Maxim.) Makino var. *yoshinoi* (Nakai) Kitam. ex Kitam. et Murata (I地区)の記録があるが、標本が残されておらず、また、ノアザミを含む複数の種との誤認が予想されるので、本目録には収録しなかった。

*目録1・2にオヤマボクチ *Synurus pungens* (Franch. et Sav.) Kitam. (II地区)の記録があるが、本種は中部地方以北と四国に分布し、近畿地方には分布しない。六甲山地には、同属のキクバヤマボクチ *S. palmatopinnatifidus* (Makino) Kitam. とハバヤマボクチ *S. excelsus* (Makino) Kitam. が分布しているので(小林ほか 1998)、これらが岡田山にも生育していた可能性はあるが、標本が残されていないので確認できない。

161. *Leibnitzia anandria* (L.) Turcz. センボンヤリ

在来・絶滅 目録2 I[†]・II[†] KC (E)

明るい草原や林縁に生育する多年草。目録2に記録があるが、標本は採られていない。15年程前まで東山の林縁に生育していたが、現在はみられず、絶滅したものと思われる。

162. *Pertya scandens* (Thunb.) Sch. Bip. コウヤボウキ

在来・絶滅 目録1・2 III[†] KC (E) KCH.

下部温帯の明るい二次林に生育する夏緑広葉小低木。目録1・2に記録があり、標本も残されているが(KCH)、現在はみられず、絶滅したものと思われる。近辺では、甲山に普通にみられるほか、岡田山の西側に位置する愛宕山(西宮市高座町)の二次林にもみられる。

引用文献

- 福岡誠行・黒崎史平・高橋 晃編。2005。兵庫県産維管束植物6。人と自然, No. 15: 93-146。
福岡誠行・黒崎史平・高橋 晃編。2006。兵庫県産維管束植物7。人と自然, No. 16: 99-129。
服部 保・田村和也・小館誓治。2000。フジバカマ生育地の現状と保全。日本造園学会誌ランドスケープ研究, 63(5): 477-480。
兵庫県県民生活部環境局自然環境保全課編。2003。改訂・兵庫の貴重な自然, 兵庫県版レッドデータブック2003。382pp。神戸。

- Iwatsuki, K., Yamazaki, T., Boufford, D. E. and Ohba, H. eds. 1993. Flora of Japan III a, Angiospermae, Dicotyledoneae, Sympetalae (a). 482pp. Kodansya, Tokyo.
- Iwatsuki, K., Yamazaki, T., Boufford, D. E. and Ohba, H. eds. 1995. Flora of Japan III b, Angiospermae, Dicotyledoneae, Sympetalae (b). 181pp. Kodansya, Tokyo.
- 神奈川県植物誌調査会編. 2001. 神奈川県植物誌 2001. 1580pp. 神奈川県立生命の星・地球博物館, 小田原.
- 環境庁自然保護局野生生物課編. 2000. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物, レッドデータブック 8, 植物 I (維管束植物). 664pp. 自然環境研究センター, 東京.
- 小林禧樹・黒崎史平・三宅慎也. 1998. 六甲山地の植物誌. 301pp. 神戸市公園緑化協会, 神戸.
- 神戸女学院環境保全委員会編. 1982. 岡田山の植物. 「増補改訂岡田山の自然」, 192-193. 神戸女学院, 西宮.
- 神戸女学院高等学部理科研究部編. 1967. 岡田山植物目録. 50pp. 西宮.
- Nagamasu, H. 1993. The Symplocaceae of Japan. Contributions from the Biological Laboratory, Kyoto University, 28 : 173-260.
- 野寄玲児・熊取谷薫・北川智美・西原光恵. 2006a. 神戸女学院岡田山キャンパスの高等植物相 (I). 総論および各論第 1 部—シダ植物門・種子植物門, 裸子植物亜門—. 神戸女学院大学論集, 52(3) : 63-90.
- 野寄玲児・熊取谷薫・北川智美・西原光恵. 2006b. 神戸女学院岡田山キャンパスの高等植物相 (II). 各論第 2 部—種子植物門, 被子植物亜門, 双子葉植物綱, 離弁花亜綱—. 神戸女学院大学論集, 53(1) : 131-164.
- 岡田山の自然編集委員会編. 1974. 岡田山の生物目録. 「岡田山の自然 : 六甲山東麓の生物とその生態」, 89-130. 神戸女学院百周年記念「岡田山の自然」出版委員会, 西宮.
- 岡田山の自然編集委員会編. 1976. 岡田山の生物目録. 「岡田山の自然 : 六甲山東麓の生物とその生態. 再版」, 89-130. 神戸女学院百周年記念「岡田山の自然」出版委員会, 西宮.
- レッドデータブック近畿研究会編. 2001. 改訂・近畿地方の保護上重要な植物, レッドデータブック近畿 2001. 164pp. 平岡環境科学研究所, 川崎.
- 佐竹義輔・原 寛・亘理俊次・富成忠夫編. 1989. 日本の野生植物, 木本 II. 305pp. 平凡社, 東京.
- 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫編. 1981. 日本の野生植物, 草本 III, 合弁花類. 259pp. 平凡社, 東京.
- 清水建美編. 2003. 日本の帰化植物. 337pp. 平凡社, 東京.
- Stace, C. A. 1991. New flora of the British Isles. 1226pp. Cambridge University Press, Cambridge.
- 竹松哲夫・一前宣正. 1987. 世界の雑草 I, 合弁花類. 712pp. 全国農村教育協会, 東京.

(原稿受理 2006年12月15日)